

キャラクター名 プレイヤー名

とこしへ

シンドローム	モルフェウス		ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	占い師
	モルフェウス		年齢	不明	性別	無性
オプション						
覚醒	忘却	衝動	闘争	初期侵食率	41 %	
出自	旧き記憶(推奨0役：仲間)	経験	人類の調査(推奨0役：人類)	邂逅	主人(対象：霧谷雄吾)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	15
感覚	4	1	2			7	(非装備時)	15
精神	0	0	1			1	戦闘移動	20
社会	2	0	0			2	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	5		RC			交渉		
回避			知覚	2		意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレット"ガズ"	射撃	7r+5				攻撃力+[LV+4]

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
賢者の石(上級34p)	P	N			
春日 恭二	P 執着	N 嫌気			
仲間	P 遺志	N 悔悟			
人類	P 好意	N 恐怖			
チユン太(PL：かみさん)	P 親近感	N 猜疑心			
霧谷 雄吾	P 尊敬	N 劣等感			
任務	P 尽力	N 不信任			
最大財産P:	14	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
オリジン：ミネラル	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果： (2:179p)装甲値+[LV×2]								
ヒューマンズ"ネイバー"	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果： (2:178p)衝動判定を+LV個								
コンセプト：モルフェウス	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果： (1:169p)クリティカル値を-LVする								
ハンドレット"ガズ"	4	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果： (EA:84p)武器作製&装備								
砂の加護	3	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果： (EA:83p)判定ゲージ+[LV+1]個する								
ギ"ガンティックモード"	1	3	Xジャー	武器	範囲(選)	対決	-	
効果： (EA:82p)対象を[範囲]にする 武器は破壊される								
クリスタイズ"	1	4	Xジャー	-	-	対決	100↑	
効果： (EA:85p)攻撃力+[LV×3] 装甲無視								
黄金錬成	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果： (EA:82p)常備化Pを[LV×10]								
成分分析	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果： 物体の構成要素を割り出せる。								
無上厨师	1	-	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果： 大気やその場の物質でどんな料理でも作り出せる。								

【コピー用】
とこしへ
PL：くれ

カラーコード：翡翠色 38b48b

【備考】
元は鉱石のレネゲイドビーイング。石として長い時を生きていたためか性質はのんびり屋で浮世離れしたところがある。人間に対しては非常に友好的。「とこちゃんと呼んでね」とほわほわしている。人間の感情や情動、欲望や野望に興味がある。短い生を燃やすように生きる存在に本質的に惹かれている。「自分と彼らは違うものだ」という意識と「もとより孤独なのだから誰と繋がらなくても存在できる」という線引きがあるからこそ、仲間だと言って認めてもらえるUGNは居場所だと思っており、好ましく守りたい思っている。もしUGNから排斥されてFHIに勧誘されたらそっち行っちゃらうんだらうな～感がある。

レネゲイドウィルスに感染する前は、とある集落にある人の身の丈くらいある大きな翡翠石だった。「とこしへ」は当時呼ばれていた名前。大きな翡翠は神の化身であるとして人々から信仰されていた。豊穡と不老を司るとして、削って畑に撒かれたり不老不死の薬として飲まれていたりなどもあったらしい。本石曰く「拜まれたり触れてもらえたりするのは良かったんだけどね。削られるのは勘弁してほしかったなあ」とのこと。

自分の身を削られていたことに関して、本石が思うよりトラウマのようにになっている。「人間を知りたい、仲良くなりたい」と思う感情の裏には「どうしてこんな怖いことをされたんだろう」という未知と恐怖がある。人間にとって死めとはなにか。薬にもならない石を削って飲まねばならない、その欲望の根源はなにか。